

## 第8回OB会レク

### たまゆらの杜・薬湯温泉+宴会+豪華抽選会

7月31日猛暑日が続く午後6時から第22回幹事会が開催され、今年の親睦会の内容を決定しました。

是非多くの会員の参加を待っています。参加される方は最寄の幹事に連絡下さい。



(昨年のレク)

とき 10月 8日(火)・9時45分集合

ところ モエレ天然温泉たまゆらの杜

かいひ 4,000円(2時間飲み放題)

集合場所・ローソン前・東区北7条西2丁目

(札幌駅東出口・労金手前)

・個人で用意するもの・  
会費、タオル、バスタオル、着替えなど  
温泉施設でも有料で貸し出しをしています

## ゆうちょ・かんぽの異常募集が社会問題

郵貯・簡保の異常募集についてはこれまでに問題があると何度も報道されてきたが、重大になった事の発端は2018年4月24日NHKのクローズアップ現代という番組でした。ここでSNSでの情報提供に対して元・現職員から300件以上の情報が寄せられた。

今年に入って簡保加入者の年配者の多くから総務省に多くの苦情が寄せられ、2019年6月24日石田総務相は日本郵政に対して行政指導を行ったことを明らかにした。これを受けて日本郵政の長門正貢社長は「明確な法令違反があったとは思っていないが、反省している」と回答した。

1969年に郵政省がアメリカ式労務管理の施策として目標管理制度を導入した時から現場の労働者は「必ず目標に縛られる」と導入阻止の闘いを進めてきた。全通中央指導部と結託しての導入後は当然のことながら労働者支配の道具にされ目標管理制度が労働者評価の中核となった。目標管理と昇格制度、新賃金制度によって現場労働者はやむを得ずノルマ達成に突き進んでいくしかなかったのが現状です。

このことは郵便内務、外務など全ての労働者に適用され、労働者支配の道具とされた。その結果、職場では管理者などによる様々なハラスメントを生むすさんだ職場となっていくた。

この制度を盾に職場支配を続けてきた郵政省、郵政公社、日本郵政の経営上層部こそがその責任をとる必要がある。組合の交渉で「ノルマは無い、あるとすればすぐに是正する」と繰り返し回答し実態を無視し続けてきたのだから。(札幌郵政OB会事務局)